

洪水対策に資する透水性インターロッキングブロック(ILB)舗装の普及・実証事業 大村セラテック株式会社(長崎県)

カンボジア王国

カ国の開発ニーズ

- 市内の排水が適切に行われず、降雨時に路面に水が溜まりやすい状況が常態化。
- 適切でタイムリーな道路維持管理が施されず、非効率な事業実施体制。
- 水道管・光ファイバー・下水管・洪水対策の排水敷設などの計画が更新、実行されるたびに舗装を打ち直しており、歩車道におけるライフサイクルコストを度外視。

普及・実証事業の内容

- カ国の現地生産製品を用い、安価な透水性ILB舗装を総合的(排水処理を含めた)に普及・実証。
- 降雨時の透水性、遮熱性、価格面を調査し、他社同等製品との比較をし、有効性を実証。
- ILB舗装設計・施工要領を作成し、カ国の標準舗装になる実証。
- 景観に配慮した歩車道空間を創出し、交通管理面や交通安全への寄与を実証。
- ILB舗装による施工コスト・メンテナンスコストをコンクリート舗装並びにアスファルト舗装と比較検討。
- 歩車道の工事に対する敷き直しコストを含めたライフサイクルコストを検証し、ライフサイクルコストによる都市内の舗装計画を普及。

提案企業の技術・製品



製品・技術名
— 透水・遮熱性ILB舗装

— 利点 —

- ・透水性に富み、平坦性が保たれ、歩車道の安全性を担保出来る。
- ・締固め効果により耐久性に優れている。
- ・ブロックのリユースが可能であり、維持・補修が容易である。
- ・地域の景観性にマッチしている。
- ・施工後即開放が可能である。
- ・人力施工なため、CO2の排出量が少なく、雇用も促進できる。

事業概要

相手国実施機関：プノンペン都・シムリアップ市DPWT
事業期間：2018年6月から2020年4月
事業サイト：プノンペン都・シムリアップ市

カ国側に見込まれる成果

- 透水・遮熱性ILBにより、降雨時も安全かつ景観に優れた歩車道空間を提供。
- 再利用可能なブロック舗装のため、新しい都市計画の際の道路敷設コストの削減。
- コンクリート舗装よりも安価に施工ができ、また維持管理が容易。

提案企業の事業展開(成果)

現状

- 現地法人設立
- カ国内での工場竣工
- ILB舗装のセミナー実施

今後

- 市内の歩車道施工・維持管理事業への参画
- 国道の施工・維持管理事業への参画
- 工業団地、都市開発ディベロッパーへの販売加速